



那賀町社協だより 第220号

編集・発行/那賀町社会福祉協議会
2024年5月

生活支援団体による 住民同士の支えあい活動 拡大中!

西部おたすけ隊・サポート結（鷲敷西部地区対象）

サクラシアン（鷲敷中央西在地区対象）

中山おたすけ隊（鷲敷中山地区対象）

延野おたすけ隊（相生延野地区対象）

上那賀おたすけ隊（上那賀地域全域対象）

木沢おたすけ隊（木沢地域全域対象）

チームあかひも（木頭折宇〜北川地区対象）

出原おたすけ隊（木頭出原地区対象）

助つくしの会（木頭助地区対象）

西宇レンジャー（木頭西宇地区対象）

和無田おたすけ隊（木頭和無田地区対象）

「困ったときはお互いさま」の気持ちと、気軽に「助けて」と言える地域の繋がりをしくみ化したものが、おたすけ隊などの生活支援団体です。登録隊員が有償ボランティアとして同じ地域に暮らす住民の困りごとを手助けします。隊員ができないことは他のサービスへとつなぐこともできます。

ちよこつと有償おたすけ事業

和無田おたすけ隊

和無田で暮らす皆さんの、ちよこつと困り事をお手伝いします。

10分 100円

別途、依頼内容に応じた経費等の実費負担あり

例えは…

- 掃除 ●庭木の剪定 ●庭の草引き
- 見守り ●話し相手 ●ゴミ出し
- 送迎（買い物・病院・役場・地域の行事等） など

※依頼内容は1時間を目安としています。
※送迎範囲は本町域内です。
※依頼内容により料金がかかる場合がございます。
※組員は必ずマスク、手袋等による感染防止、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。
※無償でもおこなっております。

和無田おたすけ隊より一言

地域の助け合いは、昔から行われてきました。しかし、お返しが高額になってしまうことや、頼む側も頼まれる側も通慮してしまうことから、本当に困ったときに頼みづらい状況になっているのではなからぬように、私たちは、そんな状況を改善し、昔ながらの助け合いをこれから続けていきたいと考え、現代のニーズに合った「和無田おたすけ隊」を立ち上げました。ちよこつとでも気軽に相談し、支え合えるような、安心・安全で暮らしやすい地域を、皆で一緒に守っていきましょう。

ご相談先は裏面の「和無田おたすけ隊」名簿をご確認ください
和無田おたすけ隊でお手配できない内容については、訪問、印刷費、シルバー人材、ボランティア団体や民間事業者などにつなぐ予定です。

ちよこつと困りごとは

対象者
わしこ町・高在地区に在住の方で
サポートが必要な高齢者の方

サクラシアンにお任せ!

近隣へのゴミ出し
ご近所への送迎
買い物付添・代行
簡単な草抜き

一律10分 100円

例えは、
ごみ出し 庭木剪定 葉の受取 家事掃除
近所のお店や病院・ついで等への送迎
買い物付添 話し相手 簡単な草抜き など

当り前に行われてきた地域の助け合い。かえってお返しが高額になってしまったり、お互いに気兼ねして、相談やお願いがしづらい状況にありませんか？
そんな時のために私達におまかせ下さい!!
「困った時はお互いさま!」地域の方のお手伝いをいたします。

(別途、依頼内容に応じた経費等実費負担あり。)
※ 移動支援などは基本的に鷲敷地区内に限ります。
※ 依頼内容によっては対応しきれない場合がございます。
※ 概ね1時間程度の助け合い活動となります。

サクラシアンとは…

- ボランティアから地域のおたすけ隊を立ち上げたグループで、サクラシアンは「桜、咲く、暮らし、安心」が名の由来です。

※ご相談は裏面のサクラシアン支援者名簿をご覧ください。



なぜ有償なのか? … 有償（少額の謝礼）にすることで、利用者がお礼を気にする必要もなく、隊員もできる時にできることを手助けするだけなので、無理なく続けられるようなシステムとなっています。また、誰もが隊員となり利用者になれるシステムでもあります。困りごとを抱える「支えられる側」とそれを支援する「支える側」に分かれるのではなく、あらゆる世代や分野の住民が役割を持って支え合いながら、自分らしく活躍できる持続可能な地域づくりを目的としています。現在町内では11団体（登録会員261名。うち6団体は令和5年度より新たに追加。）が各地域で活動しており、掃除、買い物、ゴミ出し、庭の手入れ、話し相手、車両を活用した移送支援のサポートなどを行っています。詳しくは、各対象地区にて広報折込のチラシ（上のようなチラシ）をご覧ください。社協各支所までお問い合わせください。



移送支援を行う生活支援団体会員に対して、事前に行われる運転講習の様子

生活支援団体に関するお問い合わせ先

那賀町社会福祉協議会 ☎0884-64-0026（生活支援コーディネーター 宮崎・宮本）

生活支援に関する相談やおたすけ隊立ち上げなどについて、ご相談したい方は社協まで。地域の困りごとを地域の人々で支え合える仕組みについて一緒に考えましょう!

